

出かけよう。心が動く、5感が動く

[ジェイピーゼロワン]

JP
1

HOKKAIDO
MAGAZINE
JP01

JP01 [ジェイピーゼロワン]とは
国際標準化機構による
「北海道」の国際的地理コードに
由来します。
(ISO 3166-2)

TAKE
FREE ¥0
2015 Autumn vol.9

北海道の市町村情報
一村一珍

特集
釧路
根室

札幌 地域新聞ふりっぱーの
総合商研が発行する、
北海道を応援する
フリーマガジンです。

季刊
50,000部発行

【配布場所】道の駅(道内)
高速道路の主なSA・PA(道内)
主な観光案内所
レンタカー営業所
銀行など

「最新のがん治療法と免疫療法」

「さの薬局健康セミナー」がん講習会

が開催されました。



医療法人社団恵水会田島クリニック臨床顧問

医学博士 **石塚 玲器 先生**

北海道大学医学部卒業。聖路加国際病院、ハーバード大学医学部小児病院、北海道大学病院第一外科などを経て、アメリカ・メーヨークリニック内分泌外科の臨床研修後、国立西札幌病院院長を務める。自身もがん患者であり、現職にてがん患者を多数診察。



コンフォート栄養食物研究所代表取締役

管理栄養士 **北川 恵子 先生**

「食は薬なり、食は医なり」をモットーに、豊かな食生活を通じて病気予防を伝える予防栄養学のエキスパート。22年間に及ぶ病院での管理栄養士経験を活かし、平成11年、日本初の民間の栄養相談所「コンフォート栄養食物研究所」を開設。

科学的根拠だけに頼らない、がんとの向き合い方

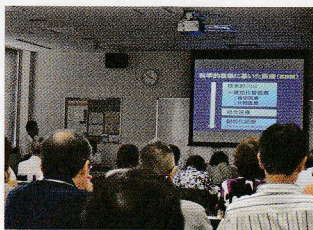
去る平成27年8月23日、札幌エルプラザ4階大研修室にて「さの薬局健康セミナー」がん講習会、最新のがん治療法と免疫療法（主催、株式会社さの薬局、後援、株式会社アミノアップ化学）が行われました。当日はコンフォート栄養食物研究所の代表取締役管理栄養士の北川恵子先生、元国立西札幌病院院長で田島クリニック臨床顧問 医学博士の石塚玲器先生の2名がそれぞれ約1時間にわたって講演。およそ80名の参加者が講演の内容に興味深く耳を傾けていました。



冒頭には、主催者であるさの薬局代表取締役の佐野弘幸さんが挨拶。

セミナーでは初めに北川先生が「未病で病気を食べて治す防ぐ！食事療法」と題して講演。自身が開設した健康食レストランを併設した日本初の栄養相談所、コンフォート栄養食物研究所での事例を示しながら、がん患者への食事療法や食生活指導による改善症例を報告。毎日の食事や生活習慣の見直しで病気の改善や防止に繋がると話しました。

続く石塚先生は「がんを克服した医師が行う個別化医療」の題目で、「ご自身もステージⅣのがん患者として得た経験と医療現場での実績をスピーチ。化学的根拠に基づいたエビデンス医療の限界が、医療そのものの限界ではないとし、抗がん剤などの使用以外にも、AHCといったサプリメントを用いるなど選択の幅を広げる個別化医療による生活の質の向上の重要性を訴えました。



先進的な医療技術だけが病状改善の一手ではないことを、両氏は図解などを用いて説明。

函館で健康セミナーを開催します

みすず調剤薬局健康セミナー in 函館

最新のがん治療法と免疫療法

- ① 補完代替医療における機能性食品の役割
(株)アミノアップ化学 国内事業部 学術開発室室長 高成 準 先生
- ② がんを経験した医師が行う個別化医療とは
田島クリニック臨床顧問 医学博士 石塚 玲器 先生

■日時/平成27年11月28日(土) 14:00開演～16:00終了予定

■会場/ホテル法華クラブ函館(函館市本町27-1)

■申し込み/有限会社みすず調剤薬局(TEL.0138-54-3800)

北海道生まれの健康サポーター

AHCC

よもやま
つうしん

四方山通信

vol.1

北海道で生まれた機能性食品、AHCC。今回はAHCCを製造するアミノアップ化学に潜入し、藤井社長にお話を伺った。その効果と意外な開発秘話とは？

それは偶然、北海道で発見されたAHCC開発秘話

シイタケから夢の大発見!?

札幌市清田区に本社があるアミノアップ化学では、AHCCという機能性食品が作られている。このAHCC、シイタケの菌糸体といわれる部位を培養して作られているのだが、免疫力を向上させる機能があり、抗がん剤治療の副作用軽減にも効果が見込まれている。「風邪の予防にもなりますので、健康な人にもぜひ試してほしいですね」と話すのは、同社の代表取締役社長・藤井創さん。

「機能性食品は目に見えて効果が分からないこともありますが、ふとした時に『そういえば今年も風邪をひいてないな』と実感するんです。二日酔いにも効果があるんですよ」とご自身の経験から語る。



アミノアップ化学
代表取締役社長

藤井 創さん

飼料の研究中に偶然見つかった

免疫力向上が期待されるAHCCはシイタケから作られているが、そもそも一体どのようにして開発されたのだろうか。それは偶然、北海道のとある農場の一角で発見されたのだという。1981年、現会長の小砂憲一さんが飼料の研究をしていたところ、周辺の植物が他より成長していることに気付いた。調べると、担子菌(キノコ)を用いた培養液の中から植物成長ホルモンが見つかった。これがAHCCの前身である「スーパーアミノアップ」という製品が開発されるきっかけとなり、会社名「アミノアップ化学」に通じている。ただ、この頃のスーパーアミノアップは植物生育促進物質であり、食品ではなかった。では、これがどのように機能性食品になったのか。答え

シイタケが健康食品に!?



AHCC
イムノメディックピュア



担子菌の菌糸体を長期培養し原料生産。加齢、生活習慣などによる免疫力低下に。



培養中の菌糸体

世界28カ国で販売される製品に

現在、AHCCを使った製品はアジアからヨーロッパまで、世界28カ国で販売されている。北海道生まれの製品が世界中の人に必要とされているのは、道民として実に誇らしいではないか。

はいたって単純で、ある社員が「植物に良いのであれば、人間にも良いのでは？」と考え、ヒトが飲むことのできる抽出液を試作し飲んでみた。すると体の調子が良くなり、ここからヒト用としての開発がスタートし現在のAHCCが誕生したのだ。

北海道食品機能性表示制度 ヘルシーDo(ドゥ)に認定

この製品に含まれるAHCCについては、「健康でいられる体づくりに関する科学的な研究」が行われたことを北海道が認定したものです。
(この表示は、北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区における国との協議に基づき、北海道内で製造された製品に限り認められたものです。)



問合せ

アミノアップ化学製品
AHCCイムノメディックピュア販売元
株式会社オフィスセガ

札幌市白石区東札幌2条4丁目3-7 セガワビル2F

0120-702-688
<http://www.office-sega.com>